



平成 27年 8月 18日 (火)

地域支援センターさくらぎセミナー

テーマ「障がいのある子が共に学ぶために
～学校生活における合理的配慮について考える～」

今年度のセミナーは、講師に群馬医療福祉大学教授の江原京子氏を迎え、午前は講演、午後は実践発表と分科会を行いました。

講演・実践発表

江原先生には、昨年度に引き続き学校生活における合理的配慮についてご講演いただき、より一層理解を深めることができました。

実践発表では、郡山第五中学校の特別支援教育コーディネーターの先生から、校長先生のリーダーシップと先生方の協力のもと、校内支援体制が構築されていく実践についてご発表いただきました。また、郡山分校の病院訪問学級に在籍する児童の、前籍校との連携や指導・支援の工夫について、その実践を学級担任が発表しました。



～参加者の感想より～

- ・ 合理的配慮についての理解が深まりました。
- ・ わかりやすい内容で先生の実際の体験談を交えてのお話、とても参考になりました。
- ・ 児童生徒に必要な支援を適切に判断し、創意工夫を凝らしながら日々実践されている先生方の発表がすばらしかったです。



分科会

分科会では、合理的配慮の実施にあたり、それぞれが抱える課題等について話し合い、江原先生から助言をいただきました。



～参加者の感想より～

- ・ それぞれの学校の課題や実態がわかりよかったです。
- ・ 通常学級の中に支援を必要な子が増えていると改めて感じました。

ご参加いただき、
ありがとうございました。

